

兵庫県豊岡市但東町

# 日本・モンゴル民族博物館年報

第 14 号 (平成 24 年度)

Annual Report of the JAPAN MONGOLIA Folk Museum  
No.14 (for the fiscal year of 2012)

## あ い さ つ

本館は、今年度、16年目の新たな区切りのスタートとなり、「小さなまちの大きな国際交流」を標榜しながら、館の運営を進めました。8月には恒例のモンゴル国友好訪問使節団（中学生6名、引率3名）を派遣、ホームステイ、現地中学生との交流、ゲルの宿泊体験など、大草原の国、モンゴルを大いに楽しみ交流を深めました。

また、企画展を3回開催、今年度で59回を数え、モンゴルの歴史や文化を広く紹介しました。

国内外の情勢は、長引く景気低迷の中、政権が交代、大幅な金融緩和等、新たな経済施策が示され、また、国際的には核問題などアジア地域でも緊張が高まった年でもありました。

入館者数は、前年度より1,202人、11%増の11,755人となりましたが、長期的には減少傾向にあり、厳しい財政事情の中で、入館者数の増が大きな課題となっています。

今後も博物館本来の使命である文化振興はもとより、地域の拠点としての日本・モンゴル民族博物館を目指します。

平成25年3月31日

日本・モンゴル民族博物館

館長 植田 政由



第10回モンゴル国友好訪問使節団

# 目 次

|                         |    |                                   |    |
|-------------------------|----|-----------------------------------|----|
| I. 平成 24 年度概要 . . . . . | 3  | VI. 管理運営 . . . . .                | 15 |
| II. 展覧事業 . . . . .      | 3  | 1. 組織・職員                          |    |
| 1. 常設展                  |    | 2. 予算の概要（決算額）                     |    |
| 2. 企画展                  |    | 3. 利用状況                           |    |
| III. 資料収集保存事業 . . . . . | 7  | 4. 施設管理                           |    |
| 1. 寄贈                   |    | 5. 博物館協力会                         |    |
| 2. 資料の貸出                |    | 6. 各種委員会委員等の受諾                    |    |
| 3. 資料の燻蒸                |    | 7. 博物館ネットワーク                      |    |
| IV. 普及教育事業 . . . . .    | 8  | 8. 博物館日誌抄                         |    |
| 1. 出前授業                 |    | 9. お客様の声から抜粋                      |    |
| 2. 体験教室、講座の開催           |    | 10. 日本・モンゴル民族博物館の<br>設置及び管理に関する条例 |    |
| 3. イベントの開催              |    | 11. 施設概要                          |    |
| 4. 情報の発信と公開             |    | 12. 交通案内                          |    |
| V. 国際交流事業 . . . . .     | 10 | 13. 利用案内                          |    |
| 1. モンゴル国との国際交流          |    |                                   |    |
| 2. モンゴル国友好訪問使節団の派遣      |    |                                   |    |

# I. 平成 24 年度概要

平成 24 年度は、開館 16 年目の新たな区切りのスタートの年であった。

交流事業として、モンゴル国友好訪問使節団(中学生 6 名と引率者 3 名)を派遣し、前年、但東町を訪れた同国の中学生宅でのホームステイ、現地中学校生との交流、ゲルの宿泊体験など、大草原の国を大いに楽しんだ。

展示事業では、「暮らしとやきもの」、「ちりめん細工の世界」、モンゴルの写真展、「いのち-大地に生きる」の、さまざまな分野の企画展を 3 回開催、また市内各小学校への出前授業や来館を通じ、教育普及活動に努めた。

また、ジオパーク関係事業として、当館敷地の入り口付近に本町産出の珍しい泥岩など 3 種類を展示し、今後も常設することとした。

さらに、ボランティアグループの協力も得て、博物館前の広場に豊岡オープンガーデンを実施するなど新たな取り組みも行った。今後も花の町を標榜する市の施策とも連携しながら進めたい。

通常業務は、展示活動や資料収集・調査・施設管理・教育普及活動を中心に取り組んだ。

入館者数については、前年度に比べ、1,202 人、11%増の 11,755 人となったが、長期的には減少傾向にあり、厳しい市財政事情の中で、入館者数増が今後の大きな課題となる。

## II. 展覧事業

### 1. 常設展

#### (1) 常設展示の構成

博物館の常設展示は、A棟のたんとうの森、B棟のアジアの歴史と風土・モンゴル草原のいのり、C棟のモンゴル草原の暮らしと文化、伝承文化体験交流館の豊岡市たんとうの暮らしから構成されている。

- ① たんとうの森・・・人口樹林を配し、平安時代前期の朽木仏像 5 体を展示
- ② アジアの歴史と風土・・・新石器時代から近代に至るまでの歴史資料を展示
- ③ モンゴル草原の暮らしと文化・・・ゲルとよばれる移動式住居を中心に衣・食・住など様々なテーマに分けて展示
- ④ モンゴル草原のいのり・・・チベット仏教の寺院を再現し、仏像・仏具等を展示
- ⑤ 伝承文化体験交流館・・・山里の暮らしと文化をテーマに、豊岡市但東町の歴史・住まい・暮らし・民話などを展示

#### (2) 常設展の更新

当館では、開館 10 周年に企画した特別展を契機に、常設展の大幅な更新を行い、より利用しやすいよう工夫を実施してきた。平成 20 年度からは、部分的な手直

しにとどめている。

平成24年度は、次のような部分について実施した。

- ① プレーリドッグ飼育舎閉鎖に伴う壁面の用途変更  
プレーリドッグが死んだことにより飼育舎を閉鎖し、廊下に面したその壁面をモンゴル絵画の展示用に変更した。
  - ② ジオパーク関連の常設展示  
当館敷地入り口付近に、但東町内で産出した主な岩石を説明用カンバンとともに設置した。花崗岩、蛇紋岩、泥岩（下見谷地層）の3点。
- (3) 屋外展示
- ① 山羊小屋  
屋外の小屋にヤギ2匹を飼育し公開している。
  - ② 騎馬像（チンギス・ハーン）
  - ③ ボランティアグループ「そよ風の会」により博物館前の広場に、オープンガーデンを初めて設置、来館者からも好評で次年度も継続する計画。
- (4) 展示解説の積極的な促進
- 展示資料をより深く理解いただくため、希望者には職員による館内のガイドを実施している。見学の一助となるよう、利用者の興味や目的に沿った分かりやすい解説を心がけている。
- また、利用者からのアンケートを取り、要望がある場合はそれに沿えるよう努力している。

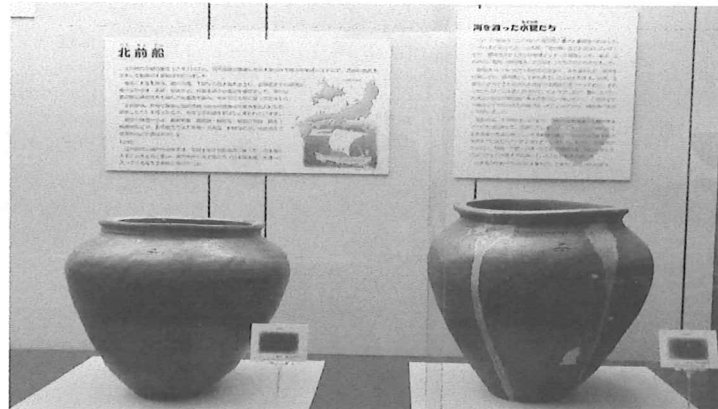
## 2. 企画展

### (1) 第57回企画展 暮らしとやきもの

平成24年5月17日～平成24年9月18日

125日間（見学者数 3,409人）

豊岡で作られていた陶器や磁器、北前舟で運ばれた越前焼きや石見焼きなどを紹介した。また、ジオパークの展示も併設した。



第57回企画展展示風景



但東町内の3種類の主な岩石を展示（博物館敷地入り口付近）

(2) 第58回企画展 ちりめん細工の世界

平成24年9月20日～平成24年12月18日

90日間（見学者数2,598人）

ちりめん細工は、江戸時代から明治時代にかけて、当時の裕福な階層の人々が着物の材料に使われた縮緬の小さな残り布を縫って作った花・動物・人形・玩具などを作ったのが始まり。展示物は、日本玩具博物館から借用した。



第58回企画展展示風景

(3) 第59回企画展 モンゴルの写真展 いのち-大地に生きる  
平成24年12月20日～平成25年4月9日

103日間（見学者数4,912人）

モンゴルの大地に生きる人々や植物など、“いのち”“あるすべてのもの”、さまざまな表情を紹介する写真展。



第59回企画展展示風景

### Ⅲ. 資料収集保存事業

当館の所蔵資料は約2万点以上に及ぶ国内外の資料で構成されている。寄贈されたモンゴル民族資料1万5千点、考古資料5千点を基礎資料としながら、旧但東町民俗資料館が収集保管してきた資料、また個人が大切に保管されていたもので寄贈又は寄託いただいたもの、モンゴル国内や全国各地から寄贈いただいた資料を収蔵している。

資料の収集は、寄贈・寄託・購入・採集・交換など、さまざまな方法で行っている。当館は郷土やモンゴルの自然や歴史・民族・文化に関する資料を収集するとともに、それぞれの分野でのテーマに応じ、比較資料となる国内外の資料も収集対象としている。

#### 1. 寄 贈

##### (1) 寄贈者一覧（敬称略・順不同）

###### 【個人】

j・ミャンダス（モンゴル国）→自然史博物館パンフレット（総合案内）・帽子

渡久山 章（那覇市）→書籍「宮古の自然と文化」第3集

永窪綾子（東京都）→モンゴル関係の詩集

加藤俊子（但東町）→草履 バッグセット

大平 茂（小野市）→考古学関係の書籍

瀬崎 彊（豊岡市）→染物関係の書籍

奥田清喜（豊岡市）→モンゴル国の写真

###### 【団体】

赤野区（但東町）→消防半纏（2組）

#### 2. 資料の貸出

##### (1) 高橋地区公民館

文化財に関する書籍（4点）

##### (2) 株式会社 アーテファクトリー

データ（投石器、チンギスハーン肖像）

##### (3) 兵庫県立ピッコロシアター

デール（モンゴル服）、額入り写真（モンゴル風景）、モンゴル説明版ほか

##### (4) 株式会社 s t c 第1製作チーム（旅の友）

写真（冊子掲載用）

##### (5) 株式会社 小学館クリエイティブ

写真（冊子掲載用）

### 3. 資料の燻蒸

平成 24 年度は、それぞれ年 2 回ずつ、害虫駆除センター・クリーン有限会社にて全館を対象にピレスロイド系殺虫剤、有機リン系乳剤を噴霧し、殺虫・防虫処理をし、収蔵庫内についても年 3 回実施している。

## IV. 普及教育事業

### 1. 出前授業

学校からの依頼に応じて、学校での授業に職員を派遣する出前授業を平成 12 年度から実施している。授業では教員と共同し持参した博物館資料を活用するなど、児童・生徒の理解を助けるよう工夫した。

市教委員会の方針に沿い豊岡市内の小学校、22 校を対象に出前授業を実施した。

|                  |            |           |
|------------------|------------|-----------|
| ① 1月22日「スーホの白い馬」 | 豊岡市立豊岡小学校  | 2年生 66名   |
| ② 1月25日「スーホの白い馬」 | 豊岡市立中竹野小学校 | 2年生 10名   |
| ③ 1月28日「スーホの白い馬」 | 豊岡市立静修小学校  | 2年生 12名   |
| ④ 1月29日「スーホの白い馬」 | 豊岡市立高橋小学校  | 1,2年生 12名 |
| ⑤ 1月31日「スーホの白い馬」 | 豊岡市立寺坂小学校  | 2年生 9名    |
| ⑥ 2月1日「スーホの白い馬」  | 豊岡市立府中小学校  | 2年生 33名   |
| ⑦ 2月4日「スーホの白い馬」  | 豊岡市立八代小学校  | 2年生 11名   |
| ⑧ 2月5日「スーホの白い馬」  | 豊岡市立中筋小学校  | 2年生 14名   |
| ⑨ 2月8日「スーホの白い馬」  | 豊岡市立神美小学校  | 2年生 29名   |
| ⑩ 2月12日「スーホの白い馬」 | 豊岡市立城崎小学校  | 2年生 29名   |
| ⑪ 2月14日「スーホの白い馬」 | 豊岡市立福住小学校  | 2,3年生 34名 |
| ⑫ 2月15日「スーホの白い馬」 | 豊岡市立新田小学校  | 2年生 41名   |
| ⑬ 2月18日「スーホの白い馬」 | 豊岡市立港東小学校  | 2年生 16名   |
| ⑭ 2月19日「スーホの白い馬」 | 豊岡市立清滝小学校  | 2年生 17名   |
| ⑮ 3月21日「スーホの白い馬」 | 豊岡市立八条小学校  | 2年生 71名   |
| ⑯ 2月22日「スーホの白い馬」 | 豊岡市立奈佐小学校  | 2年生 10名   |
| ⑰ 2月26日「スーホの白い馬」 | 豊岡市立小野小学校  | 2年生 13名   |
| ⑱ 3月4日「スーホの白い馬」  | 豊岡市立五荘小学校  | 2年生 112名  |
| ⑲ 3月5日「スーホの白い馬」  | 豊岡市立小坂小学校  | 2年生 26名   |
| ⑳ 3月7日「スーホの白い馬」  | 豊岡市立港西小学校  | 2年生 24名   |
| ㉑ 3月8日「スーホの白い馬」  | 豊岡市立三方小学校  | 2年生 23名   |
| ㉒ 3月11日「スーホの白い馬」 | 豊岡市立田鶴野小学校 | 2年生 30名   |

## 2. 体験教室・講座の開催

開催日、教室、講座名、参加者数の順に記載

- |   |        |             |           |
|---|--------|-------------|-----------|
| ① | 7月30日  | やきもの教室      | 11名       |
| ② | 8月2日   | お絵かき風鈴づくり教室 | 21名       |
| ③ | 8月10日  | モザイクで絵をかこう  | 8名        |
| ④ | 8月20日  | いけばな教室      | 4名        |
| ⑤ | 11月11日 | ちりめん細工教室    | 9名        |
|   |        |             | 合計5講座 53名 |

## 3. イベントの開催

平成25年3月2日 まるごとモンゴル雛祭り

モンゴル人演奏家2名による馬頭琴、ドムブラの演奏、またNPO法人北方アジア交流センターしゃがあ代表の西村幹也さんのモンゴルトーク、民族衣装の試着、お菓子のすくい取り、競馬ゲームなど、約230名の親子連れなどでにぎわった。

平成25年2月27-28日

馬頭琴等演奏会（出石健康福祉センター、田鶴野地区公民館、モンゴル博物館）

## 4. 情報の発信と公開

博物館を有効に利用できるよう、博物館活動に関する様々な情報を発信していくことは重要な活動の一つである。最近インターネットによる情報発信も重要な手段になっている。

博物館の事業の広報にとどまらず、様々なメディアを通じて積極的に情報を発信するよう努めている。

### (1) 博物館の広報活動

#### ① 博物館案内等の主な定期発送先

小学校190校 中学校70校 高等学校11校 報道関係機関等9社

#### ② 報道機関への資料提供

#### ③ 旅行会社への資料提供

#### ④ 在日本モンゴル留学生のまつりハワリンバヤル（東京都内で開催）に職員が向き、当館をPRした。

#### ⑤ 11月4日、資母地域の「宝まつり」の会場で当館のPRを行った。

#### ⑥ 11月25日、市総合支所前広場で開催の、商工会青年部主催「光のフェスタ」イベントに参加し、モンゴルのお茶や菓子を来場者に無料提供しPRした。

### (2) インターネットによる情報提供

#### ① 電子メール

#### ② ホームページ

インターネット利用者の増加に伴い、博物館でもその技術を活用した情報提供

の可能性を探ってきた。平成11年8月16日からホームページを開設している。

<http://www3.city.toyooka.lg.jp/monpaku/index.html>

ホームページの内容は下記のとおりである。

- ・博物館の沿革と経緯
- ・交通案内・利用案内
- ・収蔵資料
- ・展示室紹介
- ・国際交流
- ・イベント情報
- ・ミュージアムショップのご案内

ホームページの更新や追加は毎月の催し物案内のように定期的に行うもののほか、各担当により随時行っている。

## V. 国際交流事業

### 1. モンゴル国との国際交流

モンゴル国との交流については、研修生の受入、友好訪問使節団の派遣、豊岡市国際交流事業の協力支援、各種イベントの開催など、多くの方との関わりのもと継続して行っている。

平成25年1月18日

在大阪モンゴル国総領事バッチジャルガル氏、領事エンヘアマガラン氏が視察来館

平成25年2月25日～3月2日

馬頭琴奏者ドルジパラム氏、ドムブラ奏者クグルシン氏、NPO法人しゃがあ理事長西村幹也氏の受入。滞在期間中にイベント「まるごとモンゴル雛祭り」の開催、ミニコンサート（市内の地区公民館、福祉施設等）の開催

### 2. モンゴル国友好訪問使節団の派遣

平成24年度は、市内の中学生6名を中心とした計9名のモンゴル国友好訪問使節団を派遣した。ウランバートルを中心にその周辺を訪れ、ホームステイや中学校訪問、ゲル体験、乗馬体験などを通じ、交流を深めた。

ホームステイ先は、モンゴル、豊岡シルクロード協会副会長のS.デムベレル氏や昨年と3年前に来日したモンゴルの中学生、大学生の4家庭であった。

モンゴル国友好訪問使節団の派遣状況

- 8月3日 チンギスハーン空港に到着・入国、ウエルカムパーティ
- 4日 ホームステイ家族と過ごす（ウランバートル市内などの観光）
- 5日 //
- 6日 13世紀村を視察（宿泊）

- 7日 フスタイ国立公園を視察（宿泊）  
8日 ナラン中学校で交流会  
9日 自然史博物館、在モンゴル日本大使表敬訪問、さようならパーティ  
10日 帰国

【モンゴル友好訪問使節団中学生6名の感想文】

※学年は参加当時

竹野中学校1年生 藤田 龍颯

僕は、今回のモンゴルの旅行で、「日本とは違うな」と思うところを発見しました。それは、モンゴルの自然と文化です。モンゴルにあったのは、「新鮮でおいしいたくさんさんの空気」「夜空いっぱい広がる星」「広々とした景色」など、美しい自然姿でした。そこは、僕がイメージしていたモンゴルの自然を圧倒する、スケールの大きな自然でした。

僕は、小学校の国語の授業で「スーホの白い馬」を学習した頃から、馬頭琴に興味を持っていました。また、中学校の社会科の授業でモンゴルのことを学習した時に、ゲルのことにも興味を持ちました。だから、本物を実際に使ったときは、少し緊張し、同時に興奮しました。モンゴルで一番心に残ったことは、ホームステイです。ホームステイ先のオユンゲレルさんは、肉を食べないのに、僕達のためにおいしい肉を使って、ごちそうを作ってくれました。とてもおいしかったです。

ホームステイ先のヤダムスレン君は、絵がとても上手だったので、鉛筆で絵をたくさんかいてもらいました。そして、一緒に星空を観察したり、朝日を見に山に登ったり、ゲルを見にいたりして、とても楽しい時間をすごしました。最後は、おみやげに財布と青いストラップをくれました。

乗馬体験は、落ちないように気を付けながら、馬の上からの景色を楽しみました。馬の上は、涼しい風が顔に吹き付けて気持ち良かったです。馬に付けている鞍にすわって、前後に揺られていると、何か懐かしい感じがしました。

そして、次の日には希少な野生馬のタヒを見つけられてうれしかったです。

その他にも、日本大使館で、日本大使と直接会って話したり、市内の学校で交流したりして、とても貴重な体験がたくさんできました。

僕は、様々な自然に囲まれたモンゴルを、知れば知るほど羨ましく思うようになりました。

これからも、モンゴルとの関係を持ち続けたいです。

僕の中で、今回のモンゴルの旅行は、一生の記念です。

出石中学校2年生

雀部 夏菜

わたしがモンゴルに行こうと思ったのは、前から外国に行ってみたいという思いがあり、特にモンゴルという草原の多い国で暮らしている人々の暮らしに興味があったからです。

モンゴルに行く前のわたしのイメージは、見渡す限り草原で人はみんなゲルに住んでい

るというものでした。しかし空港から出た瞬間わたしの目に飛び込んできたのは、たくさんのビルやマンションの間を車がびゅんびゅん走っているという、わたしがイメージしていたものとは全然違う景色でした。

モンゴルではお寺や博物館に行ったり、乗馬体験やホームステイをしたりと、いろいろなどころを見てまわり、たくさんの体験をしました。何もかもが初めてで、驚きや戸惑いの連続でした。

たくさんの体験の中で、ホームステイが一番モンゴルの家庭の様子がわかり心に残りました。ホームステイの中でも、ごはんを食べているときに国の違いを強く感じました。食べるものは和食とは違い肉が中心で食べ方も違いました。日本ではお皿を持ちあげていなかったり肘を机につけていたりすると行儀が悪いと視られるけど、モンゴルではみんな肘を机につけてお皿を持ちあげずに食べていました。

モンゴルでお世話になったホストファミリーをはじめとするたくさんの方々、日本で支えてくれた家族や友だちに感謝の気持ちでいっぱいです。これからは、モンゴルと日本の友好を深めるために、わたしがモンゴルで経験したことを家族や友だち、学校の先生に伝え、たくさんの人にモンゴルのことを知ってもらいたいです。

豊岡南中学校1年生 平野真子

初めてモンゴルに行きました。行く前は言葉のこととか、食事のことなどとても心配していました。

でも実際に行ってみると思ったよりいろいろ大丈夫だったので、ほっとしました。

ホームステイでは、ラグワさんのお宅にお世話になりました。お寺やデパートや遊園地など、色々なところに連れて行ってくださいました。楽しかったです。家ではお母さんと一緒に肉まんみたいなのを作りました。生地を包むのが難しかったです。また、お母さんがモンゴル料理を作ってください、とてもおいしかったです。家族の皆さんがいつもにこにこしてくださったので安心しました。

ゲルに泊まったときはとても星がきれいだし、多かったのでびっくりしました。

一番印象に残ったことは、馬やラクダに乗ったことです。馬は大きくてはじめは少しこわかったけれど、乗ってみたら視界が広くて気持ちが良かったです。ラクダは、フタコブラクダで馬よりも大きかったです。

乗るときは、ラクダが座った状態で、コブとコブの間にまたがりました。ラクダが立ち上がる時は体が傾くのでコブをしっかり持っていました。のっそのっそと歩いて面白かったです。

出発する前はとても長い旅行だと思っていたけれど、とてもあっという間でした。一週間、安全で楽しく過ごせたのは使節団のお世話をしてくださった方々、モンゴルでお世話してくださった方々、ラグワさんの家族、一緒に行った仲間、自分の家族のおかげだと思います。本当にありがとうございました。

私は今回モンゴルに行けて、本当に良かったです。そして、また、モンゴルに行けたらいいと思いました。

豊岡南中学校3年生 平野宗太朗

僕は、このモンゴル訪問を親に勧められて、モンゴルに行ったことがなかったので参加しました。

行く前は、食べ物合うかどうか心配でした。モンゴルの第一印象は、そこまでは日本と変わらないかなということです。最終的に、この印象は草原の広さやゲルでの暮らしなどから覆されました。

モンゴルに行って嬉しかったことは、交流会でコマ回しをした後、たくさんの生徒さんがコマ回しを体験させて、と来てくれたことです。一回目で簡単にコマを回す人もいてびっくりしました。

モンゴルでは意外なこともありました。それは、よく果物が売られていることです。日本よりも、たくさんの数や種類がお店に並んでいました。ホテルやレストランのバイキングでも、手が加えられていない果物が置いてあり、おどろきました。

モンゴルではガイドさん、ホストファミリーのみなさん、ナラン学校のみなさんなどたくさんの人にお世話になりました。とても感謝しています。モンゴルで学んだ、馬の乗り方はこれからの人生に活かしていきたいです。

日高東中学校2年 太田 紫苑

モンゴルは、アジアといっても家族誰も行ったことがない未知の国でした。勉強した事は、チンギス・ハン。ゲル。少ない知識の中で素晴らしい自然の写真に心を打たれ、楽しみに出かけました。

モンゴルでは、ホストファミリーのオルホンさん一家があたたかく迎えてくれました。ウランバートルは思っていたのと違い、とても近代的な生活を送られていました。生活習慣はかなり違って戸惑いました。一日五食の食事、夜ご飯は夜中に食べます。朝ごはんはミルクのお粥です。お母さんが心をこめて手作りしてくださいました。実は私は苦手でしたが一生懸命食べました。最初はあまり話せませんでした。徐々に打ち解けあって簡単な英語やジェスチャーで話し、笑いあいました。夜にはオルホンさんに日本の浴衣を着せてあげ、日本茶と和菓子で浴衣を着ながらおもてなしをしました。日本茶ははじめ苦い顔をされていましたが、おかわりまでしてくれました。その他にも親戚のおうちのゲルや緑いっぱいの別荘、遊園地にも連れて行って、デパートではI love MONGOLIAのTシャツを買ってもらいました。私はうれしくてずっとそのTシャツを着て過ごしました。そして最後に「また必ずモンゴルへ来るから。」と約束しました。お母さんはぎゅっと抱きしめてくれました。お別れはとても悲しいものでした。さよならパーティーでは残念ながら会えず、ちゃんとしたお別れが出来ませんでした。大人になったらまたモンゴルへ行くという約束を果たそうと心に決めました。

ツーリストキャンプでは、ゲルにとまりました。電気がつかなくなったり、いろい

ろ大変な事もありましたが、遊牧民の人たちは、このゲルの中でいろいろと工夫されて生活をされているんだなあと実感しました。馬に乗ったり、ヤギのお乳を搾ったりとても貴重な体験が出来て楽しかったです。景色は日本では見た事のない大草原に囲まれていて、この緑いっぱいの景色を守っていかなければならないと強く感じました。その草原の中でゲルの間から見える夕日は絶景でした。雨が降ってしまったけど大きな虹を見る事ができてよかったです。

現地ガイドのオリギルさんには、ゲルの中でモンゴルの問題点や発展の事などを聞き、日本との外交をもっと深めて行きたいといわれていました。私も日本とモンゴルの友好関係のお手伝いが出来たらいいなと思いました。

日本大使館に行くと、「日本の子どもは、自分の考えや意思を言えない。そこがモンゴルとの違いだ。」と大使に言われました。私も自分の考えを言葉にして伝えることが苦手なので、それでは世界には通用しないという事を改めて感じました。これからは自分の考えをしっかりと持って発言していきたいと思います。

モンゴルで過ごした時間はとても充実したもので私にとって大きな意味のある 8日間になりました。新たな自分も発見できました。お世話になった方々に心から感謝したいと思います。ありがとうございました。

豊岡北中学校 1年生 細間凜音

今回、モンゴルへ参加させていただきありがとうございました。団長さんをはじめ館長さんや高松先生、添乗員の池田さん、モンゴル人ガイドのオリギリさんやスタッフのみなさんのお陰で楽しく8日間を過ごす事が出来ました。

私がモンゴルに行きたかった理由は、5年生の時に私の家にモンゴルの高校生が3人ホームステイに来た事で、私自身がモンゴルにとっても興味を持ったからです。モンゴルの高校生は日本語が大変上手でとてもびっくりしました。日本ではこんなに上手に外国語を話せる高校生は少ないので、私は特に英語を勉強しないといけないと思いました。

私はモンゴル国に行っているいろんな経験をしました。その中で一番心に残ったのは、なんといてもホストファミリーと過ごした日々です。

1日目にキャンプに連れて行ってもらいました。キャンプでは乗馬をしたり、オボーでお祈りをしたりしました。ホストファーザーが日本語でひとつひとつ詳しく説明してくれて、モンゴル国のことが徐々に分かってきました。モンゴルと日本の違いは沢山あったけど、ホストファーザーが教えてくれたのでだんだん慣れてきました。

特に食事に関しては違いが大きく、馬乳酒やミルク茶は苦手でしたが、その他の料理はとてもおいしかったです。ベスト3をあげるなら、No.1はホストマザーと作った『ボーズ』、No.2は『ツオイオン』(モンゴル風焼うどん)、No.3は『ホーショール』(揚げ餃子)です。ホストマザーは明るくて、いろんな事をしてくれました。一緒にボーズを作った時はとても細かい作業で難しかったけど、ホストマザーは毎日作っているから手早くてさすがだなと思いました。このボーズは最高においしかったです。日本でもぜひ作りたいと思いました。ホストブラザーのナムスラ



(2) 組織・職員

|      |                      |
|------|----------------------|
| 館長   | 植田 政由 (平成 23 年 4 月～) |
|      | (嘱託職員)               |
| 主幹   | 宮嶋 裕之 (平成 23 年 4 月～) |
| 嘱託職員 | 渡辺 律子 (平成 8 年 11 月～) |
| 嘱託職員 | 柴田 明子 (平成 13 年 4 月～) |
| 嘱託職員 | 橋本真紀恵 (平成 17 年 4 月～) |
| 嘱託職員 | 二位 明子 (平成 17 年 4 月～) |

(3) 事務分掌

|       |   |
|-------|---|
| 植田 政由 | 管理運営に関すること。講師の派遣に関すること。モンゴル国との国際交流、モンゴル関係団体との連絡調整、文化財の調査研究、文化財保護に関すること。 |
| 宮嶋 裕之 | 館の庶務、歳入歳出及び経理、企画展示、出前授業及び講師派遣に関すること、各種教室・講習会の開催                         |
| 渡辺 律子 | 歳入歳出及び経理、受付及び案内、常設展示・企画展示に関すること、館内外の管理に関すること                            |
| 柴田 明子 | ミュージアムショップに関すること、受付及び案内、各種教室・講習会の開催、館内外の管理に関すること                        |
| 橋本真紀恵 | 文書の管理、受付及び案内、博物館協力会に関すること、館内外の管理に関すること                                  |
| 二位 明子 | 文書の管理、受付及び案内、ホームページの管理、館内外の管理に関すること                                     |

2. 予算の概要(決算額)

単位:千円(百円以下四捨五入)

[人件費] 23,363

- ① 報酬 9,958(嘱託職 5 名)
- ② 給与 4,662(一般職 1 名)
- ③ 職員手当等 5,460(扶養手当 570、通勤手当 547、時間外勤務手当 430、期末手当 3,317、勤勉手当 577、住居手当 19)
- ④ 共済費 3,283

[管理費] 9,195

- ① 旅費 10(普通旅費)
- ② 需用費 6,846(消耗品費 247、燃料費 106、印刷製本費 99、光熱水費 4,183、修繕料 2,178、飼料費 33)
- ③ 役務費 388(通信運搬費 261、保険料等 67、広告料 60)
- ④ 委託料 1,719(電気保安点検 373、自動ドア点検 55、消防施設点検 22、芝生管

理 200、清掃管理 200、警備 265、資料燻蒸 200、除雪 404)

⑤ 使用料 207

⑥ 負担金 10

⑦ 公課費 15

「事業費」 4,910

① 報償費 310

② 旅費 87

③ 需用費 1,286(消耗品費 1,275、食料費 8、医薬材料費 3)

④ 役務費 122(通信運搬費 122)

⑤ 委託料 2,772(業務委託料 2,772)

⑥ 使用料 243(著作権料 243)

⑦ 備品購入費 90(事業用備品 90)

### 3. 利用状況

当館は平成 8 年 11 月 3 日に開館し、16 年目を迎え利用者は平成 25 年 3 月末累計で、392,952 名となった。平成 24 年度は開館日数が 309 日で、入館者が 11,755 名で前年度と比べ 8%の増加となった。要因としては、チューリップまつり期間中の増などがある。

【平成 20 年度(開館日:307 日)】

|       | 4月   | 5月   | 6月  | 7月  | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月 | 1月  | 2月   | 3月   | 計      |
|-------|------|------|-----|-----|------|------|------|------|-----|-----|------|------|--------|
| 協力会地区 | 135  | 36   | 43  | 72  | 57   | 31   | 39   | 37   | 24  | 25  | 53   | 54   | 606    |
| 一般    | 1461 | 617  | 283 | 300 | 535  | 535  | 685  | 684  | 386 | 169 | 535  | 528  | 6,718  |
| 高、大   | 18   | 19   | 2   | 5   | 42   | 8    | 8    | 30   | 0   | 4   | 17   | 31   | 184    |
| 小、中   | 158  | 76   | 5   | 15  | 82   | 28   | 48   | 27   | 11  | 17  | 42   | 62   | 571    |
| その他   | 2907 | 492  | 559 | 597 | 696  | 410  | 570  | 427  | 308 | 184 | 850  | 769  | 8,769  |
| 計     | 4679 | 1240 | 892 | 989 | 1412 | 1012 | 1350 | 1205 | 729 | 399 | 1497 | 1444 | 16,848 |
| 1日平均  | 180  | 46   | 34  | 38  | 52   | 39   | 52   | 46   | 32  | 17  | 62   | 53   | 55     |

【平成 21 年度(開館日:307 日)】

|       | 4月   | 5月  | 6月  | 7月   | 8月   | 9月   | 10月 | 11月  | 12月 | 1月  | 2月  | 3月   | 計      |
|-------|------|-----|-----|------|------|------|-----|------|-----|-----|-----|------|--------|
| 協力会地区 | 83   | 30  | 23  | 36   | 25   | 33   | 50  | 22   | 17  | 45  | 40  | 50   | 454    |
| 一般    | 1059 | 459 | 260 | 385  | 484  | 452  | 507 | 588  | 238 | 325 | 459 | 511  | 5,727  |
| 高、大   | 15   | 9   | 19  | 5    | 26   | 13   | 2   | 28   | 5   | 10  | 10  | 8    | 150    |
| 小、中   | 126  | 56  | 10  | 46   | 103  | 42   | 10  | 17   | 3   | 39  | 34  | 69   | 555    |
| その他   | 2851 | 389 | 442 | 577  | 539  | 537  | 380 | 480  | 206 | 406 | 450 | 448  | 7,705  |
| 計     | 4134 | 943 | 754 | 1049 | 1177 | 1077 | 949 | 1135 | 469 | 825 | 993 | 1086 | 14,591 |
| 1日平均  | 153  | 35  | 29  | 40   | 44   | 43   | 35  | 44   | 20  | 36  | 41  | 42   | 48     |

【平成 22 年度(開館日:308 日)】

|       | 4月   | 5月   | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 計      |
|-------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|
| 協力会地区 | 99   | 32   | 25  | 18  | 25  | 53  | 12  | 30  | 12  | 12  | 15  | 31  | 364    |
| 一般    | 1077 | 459  | 467 | 370 | 383 | 190 | 255 | 497 | 258 | 103 | 252 | 340 | 4,651  |
| 高、大   | 17   | 20   | 2   | 4   | 26  | 6   | 15  | 22  | 2   | 1   | 7   | 7   | 129    |
| 小、中   | 97   | 49   | 3   | 30  | 49  | 6   | 10  | 10  | 9   | 13  | 40  | 39  | 355    |
| その他   | 2000 | 555  | 377 | 385 | 481 | 333 | 321 | 359 | 206 | 254 | 357 | 496 | 6,124  |
| 計     | 3290 | 1115 | 874 | 807 | 964 | 588 | 613 | 918 | 487 | 383 | 671 | 913 | 11,623 |
| 1日平均  | 118  | 41   | 35  | 30  | 36  | 24  | 23  | 35  | 21  | 17  | 28  | 35  | 38     |

【平成 23 年度(開館日:309 日)】

|       | 4月   | 5月  | 6月  | 7月  | 8月   | 9月  | 10月  | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月   | 計      |
|-------|------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|------|--------|
| 協力会地区 | 40   | 40  | 23  | 45  | 49   | 40  | 30   | 35  | 14  | 16  | 14  | 30   | 376    |
| 一般    | 796  | 463 | 190 | 188 | 335  | 206 | 393  | 376 | 160 | 165 | 193 | 397  | 3,862  |
| 高、大   | 12   | 7   | 2   | 2   | 19   | 9   | 14   | 1   | 2   | 3   | 2   | 10   | 83     |
| 小、中   | 60   | 29  | 7   | 14  | 59   | 8   | 7    | 7   | 2   | 23  | 19  | 44   | 279    |
| その他   | 892  | 433 | 242 | 531 | 555  | 286 | 592  | 517 | 230 | 517 | 523 | 635  | 5,953  |
| 計     | 1800 | 972 | 464 | 780 | 1017 | 549 | 1036 | 936 | 408 | 724 | 751 | 1116 | 10,553 |
| 1日平均  | 67   | 36  | 19  | 29  | 39   | 21  | 38   | 37  | 17  | 30  | 31  | 41   | 34     |

【平成 24 年度(開館日:309 日)】

|       | 4月    | 5月    | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月   | 12月 | 1月  | 2月    | 3月    | 計      |
|-------|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-------|-------|--------|
| 協力会地区 | 26    | 41    | 68  | 24  | 28  | 54  | 33  | 28    | 19  | 18  | 26    | 47    | 412    |
| 一般    | 566   | 702   | 327 | 225 | 305 | 327 | 376 | 492   | 196 | 153 | 229   | 502   | 4,400  |
| 高、大   | 7     | 15    | 3   | 6   | 10  | 1   | 15  | 2     | 0   | 2   | 8     | 4     | 73     |
| 小、中   | 47    | 51    | 8   | 19  | 31  | 5   | 8   | 13    | 4   | 5   | 24    | 91    | 306    |
| その他   | 906   | 722   | 554 | 500 | 543 | 420 | 280 | 540   | 222 | 318 | 803   | 756   | 6,564  |
| 計     | 1,552 | 1,531 | 960 | 774 | 917 | 807 | 712 | 1,075 | 441 | 496 | 1,090 | 1,400 | 11,755 |
| 1日平均  | 55    | 57    | 37  | 29  | 35  | 31  | 27  | 41    | 19  | 21  | 45    | 52    | 38     |

4. 施設管理

(1) 芝生管理

敷地内に広がる芝生管理を但東町シルバー人材センターに年間委託している。本年度はボランティアで行っていただいた活動も含め 3 回の雑草除去作業を行った。

また、博物館協力会や近隣地区の皆さんにも芝生や植木の管理などの館外の美

化に協力をいただいた。

## (2) 補修工事

### ①高圧受変電設備改修工事（平成 24 年 5 月）

当館敷地付近に設置の高圧気中開閉器を改修し、周辺集落の停電の発生予防を図った。

### ② 玄関自動ドア開閉装置修理（平成 24 年 10 月）

自動開閉装置を改修し、来館者のスムーズな出入館を図った。

## 5. 博物館協力会

(1) 博物館協力会は当館が位置する資母地区の住民から「いつまでも美しい建物にしよう」という声上がり、加藤廣巳氏と塩川剛三氏の呼びかけで、平成 9 年 2 月 10 日に発足した。会長は博物館が位置している如布区長がこれにあたり、周辺地域の区長や各団体の長が理事として連なる。また、資母地区選出市議会議員、博物館OBが顧問となる役員構成になっている。

平成 24 年の活動内容は以下のとおりである。

### (1) 役員

会 長 水口亮二

理 事 13 名 顧 問 10 名

(任期：平成 24 年 1 月 1 日～平成 24 年 12 月 31 日)

### (2) 活動内容

#### ① 各種事業への協力

3 月 2 日「まるごとモンゴル雛祭り」開催にあたり、協力区 5 地区区長に、パンフレット回覧など事前PRの協力をいただいた。

#### ② 役員会の開催

5 月 13 日、博物館主催による役員会を開催し、博物館の現状説明と運営に対する協力依頼を行った。

#### ③ 芝生広場除草等ボランティア

敷地内芝生広場の除草などのボランティアを行った。

## 6. 各種委員会委員等の受諾

平成 23 年度から博物館職員が委嘱を受けている各種委員会、協会役員等は次のとおり。

植 田 政 由 兵庫県博物館協会理事（平成 23 年 4 月～平成 25 年 3 月 31 日）

## 7. 博物館ネットワーク

### (1) 兵庫県博物館協会

兵庫県内の博物館・美術館・資料館で構成され、平成 25 年 3 月末で 139 館が

加盟している。県立歴史博物館が事務局館を務めている。  
平成24年 5月15日 第1回理事会（兵庫県立歴史博物館）  
平成24年10月16日 第2回理事会（           〃          ）  
平成24年11月28日 第2回研修会（横尾忠則現代美術館）  
ホームページでの夏休み子ども向けイベントの紹介  
展覧会案内情報更新  
はくぶつかんガイドの作成・配布  
ホームページの更新

## (2) 但馬地域博物館連絡会

兵庫県北部に位置している但馬管内の博物館施設が相互協力して博物館活動の振興を図るため、平成9年4月25日に設立され、平成24年3月末現在では17館が加盟している。当館は平成9年4月に加盟し、その後、幹事館となり、平成18年6月から平成21年8月まで事務局担当、その後は監事を務めていたが、平成23年度からは、役職なしとなっている。

平成24年 6月 7日 総会

平成24年 7月11日 ジオパーク研修会

平成24年11月17～18日 但馬まるごと感動市で各館のPRポスターを貼付し  
パンフレットを配付

年間を通じ、未加盟館へのはたらきかけ

## 8. 博物館日誌抄

平成24年度の主な出来事を日報から抜粋して記載する。

4月 3日 総合支所管理職会議（館長）

4月19日 庶務担当者会議（宮嶋主幹ほか）

4月23日 文化財パトロール（宮嶋主幹）

4月25日 チューリップ祭り開園

〃 豊岡市内中学校長会（館長ほか）

4月27日 学校総合支所連絡会（館長）

5月 3日

～5日 東京都内で開催のモンゴルまつりハワリンバイタル参加（宮嶋主幹）

5月 6日 チューリップ祭り閉園

5月 7日 総合支所管理職会議（館長）

5月 8日 市博物館等館長会議（館長ほか）

5月11日 オープンガーデン植え付け作業（そよ風の会）

5月13日 モンゴル博物館協力会役員会（館長ほか）

5月15日 兵庫県博物館協会理事会（館長）

5月15日 中川副市長、総合支所管理職との懇談会（宮嶋主幹）

- 5月16日 企画展展示替え（全職員）
- 5月21日 真野副市長とモンゴル交流事業につき協議（館長ほか）
- 5月24日 騎馬像の色塗り作業（業者）
- 5月27日 神鋼ソリューションの関谷氏来館
- 5月28日 但東町内の岩石、地層の調査（館長ほか）
- 6月2日 体験教室（風鈴づくり）
- 6月4日 総合支所管理職会議（宮嶋主幹）
- 6月7日 但馬博物館協会総会（宮嶋主幹）
- 6月8日 豊岡オープンガーデンショー開園
- 6月10日 草刈ボランティアが敷地の草刈作業
- 6月14日 市内の各高校へモンゴル演奏会の開催要請（館長ほか）
- 6月16日 館前のベゴニアの植え付け作業
- 6月18日 モンゴル友好訪問使節団の委託業者との打ち合わせ（館長ほか）
- 〃 敷地内の水道漏水調査
- 6月25日 豊岡市博物館運営委員会視察来館
- 6月28日 モンゴル友好訪問団第1回打合会（館長ほか）
- 6月30日 総合支所管理職会議（館長）
- 7月2日 クールスポット開始
- 7月3日 総合支所管理職会議（館長）
- 7月5日 豊岡市各区公民館主事会でモンゴル演奏会の開催要請（館長ほか）
- 7月12日 モンゴル友好訪問使節団の委託業者との打ち合わせ（館長ほか）
- 7月17日 モンゴル友好訪問団第2回打合会（館長ほか）
- 7月20日 市内4博物館等のスタンプラリー開始
- 7月26日 市内4館のスタンプラリーの賞品提供を町内業者へ依頼（館長ほか）
- 7月26日 モンゴル友好訪問団第3回打合会（館長ほか）
- 7月27日 シルバー人センターのボランティア草刈作業（38名）
- 7月30日 体験教室（焼き物づくり）
- 8月2日 総合支所管理職会議（館長）
- 8月3日 モンゴル友好訪問団出発
- 8月10日 モンゴル友好訪問団帰国
- 8月17日 関西大学教授森隆男氏、学生らと観覧来館
- 8月20日 体験教室（いけばな教室）
- 8月21日 館内飼育プレーリードック1匹、死亡
- 8月24日 町内の岩石調査、ジオパーク普及専門員三木氏に同行（館長ほか）
- 8月27日 豊岡市歴史文化基本構想策定の打合会（館長ほか）
- 〃 モンゴル友好訪問団報告会（館長ほか）
- 9月2日 館前の芝生の草刈作業
- 〃 亀ヶ城へ登山調査（宮嶋主幹）

- 9月 3日 総合支所管理職会議（館長）
- 9月 7日 クールスポット終了
- 9月19日 企画展展示替え
- 9月28日 館前の芝生の草刈作業
- 10月 2日 道標調査（館長ほか）
- 10月14日 総合支所で開催の但馬インターナショナルデーに参加し当館をPR
- 10月16日 兵庫県博物館協会理事会（館長）
- 10月29日 市内公民館へ馬頭琴コンサート受け入れ要請（館長ほか）
- 11月 1日 ピッコロシアター館長来館
- 11月 4日 「資母の宝まつり」開催。ポスター、パンフレットPR
- 11月11日 ちりめん細工教室
- 11月25日 但東冬の光のフェスタ参加（市総合支所前広場）
- 11月13日 市国際交流協会但東支部役員との交流会（館長ほか）
- 11月25日 「但東光のフェスタ」開催。モンゴルお茶、菓子のサービス。モンゴル人スタッフ2名とともに参加
- 12月19日 企画展展示替え
- 12月27日 モンゴル博物館消防訓練、仕事納め
- 1月 8日 総合支所管理職会議（館長）
- 1月12日 NPOしゃが代表西村幹也氏来館
- 1月18日 在大阪モンゴル総領事ほか、視察来館
- 1月27日 野生復帰大作戦、キッズワールド2012 指導者養成講座開催
- 3月 2日 まるごとモンゴル雛まつり
- 3月 4日 博物館運営委員会（宮嶋）
- 3月 4日 学校、支所連絡会（館長）
- 3月12日 但東中学校卒業式（館長）

## 9. お客様の声から抜粋

以下は平成24年度の来館者の声を抜粋したもの

- ◎ 6月 7日 京都府綾部市（60歳代女性）  
モンゴルの服が着られてよかったです。ありがとうございました。
- ◎ 6月12日 兵庫県豊岡市（20歳代女性）  
モンゴルの衣装を無料で着られるのが良かったです。
- ◎ 6月24日 大阪府大阪市（60歳代男性）  
笑顔での説明、ありがとう。
- ◎ 6月25日 兵庫県豊岡市（10歳代、男子小学生）  
とてもわかりやすく展示してあってわかりやすかった。
- ◎ 6月25日 兵庫県豊岡市（10歳代、女子小学生）  
きれいな服を着られてよかった。

- ◎ 7月14日 京都府京都市 (40歳代、女性)  
思っていた以上の楽しさでした。来て良かったです。
- ◎ 7月14日 京都府京都市 (10歳代、女子小学生)  
モンゴルのいえは、みためよりひろかったのでびっくりした。ふるいいえもたのしかった。
- ◎ 7月28日 兵庫県豊岡市 (40歳代、女性)  
思ったよりも展示品がたくさんあり非常おもしろかったです。子どもはゲルや民族衣装に大喜びでした。また、来たいと思いました。
- ◎ 7月31日 京都府京都市 (40歳代、女性)  
実家に帰ってきて田んぼや畑の手伝いがメインになりなかなか地元で友人に出会ったり、施設を見てまわることができずにいました。今日は父のすすめもあり、家族で来させていただきました。展示物の多さにびっくりし、民族衣装の試着などができ、とても楽しませていただきました。但東の展示もなつかしい品物にふれ、昔に戻ったような気持ちになりました。ありがとうございました。
- ◎ 8月14日 兵庫県加古川市 (10歳代、女子小学生)  
モンゴルの資料ありがとうございました。宿題の資料が増えました。また来たいと思います。
- ◎ 8月14日 大阪府大阪市 (10歳代、男子小学生)  
常設展示はとても良かった。モンゴル帝国 (チンギス・ハーン) の説明とかはわかりやすかった。リスみたいな動物は見たかったけど、説明などが書いてあったから楽しかった。
- ◎ 8月14日 大阪府大阪市 (10歳未満、女子小学生)  
今日きてとてもたのしかった。モンゴルの中で、白いうまが死んじゃってかわいそうだった。たのしかったです。
- ◎ 8月14日 京都府京都市 (50歳代、男性)  
展示物の趣旨がわかりにくかった。モンゴルと日本の関係が、元の時代が中心のような印象だったが、現在の関係などもわかるような展示がほしかった。
- ◎ 9月2日 兵庫県神戸市 (10歳未満、女子小学生)  
モンゴルでつかわれたものがふくや、いろいろなものがおいてあってモンゴルの事を知れてよかったです。わたしは2年生のときに「スーホの白い馬」をべんきょうしたので、ちょっとは、モンゴルのことは知っていたけど、それよりもっと知れたのでよかったです。
- ◎ 9月23日 兵庫県加古川市 (男性、40歳代)  
新たな企画が盛り込まれれば、また来館したいと思います。
- ◎ 9月23日 京都府舞鶴市 (男性、70歳代)  
図書コーナーの休憩所の座布団が陽に焼け過ぎ。替えたらどうでしょうか。
- ◎ 9月24日 京都府京都市 (男性、60歳代)

こんな良い施設があることを知らなかった。以前、但東シクルロードマラソン大会に何回も参加していて、但東町には親しみがあつた。

- ◎ 9月24日 兵庫県豊岡市 (男性、30歳代)  
館内を案内(説明)してほしかった。
- ◎ 9月28日 兵庫県豊岡市 (男性、20歳代)  
GREAT!! (素晴らしかった!!)
- ◎ 10月30日 兵庫県豊岡市 (男性、20歳代)  
「ちりめん細工の世界」大変参考になりました。
- ◎ 11月11日 兵庫県豊岡市 (女性、60歳代)  
久しぶりに素敵な作品を見ました。「すごい、すごい」の一言です。ちりめん細工の傘かざり、松ぼっくり---素晴らしかったです。
- ◎ 12月8日 兵庫県神戸市 (女性、70歳代)  
民族衣装を自由にカメラ撮影出来て楽しかったです。
- ◎ 12月8日 兵庫県神戸市 (男性、70歳代)  
以前から知っていたが、温泉のついでに来れました。思いがけず大変素晴らしかったです。
- ◎ 1月10日 奈良県奈良市 (女性、20歳代)  
モンゴルの衣装が自由に着られてよかった。きらびやかな衣装から落ち着いたものまで色々あるんですね。
- ◎ 1月10日 奈良県奈良市 (男性、30歳代)  
大変興味深く楽しいひとときを過ごせました。ありがとうございました。
- ◎ 1月27日 兵庫県豊岡市 (男性、50歳代)  
「いのち」の写真もさることながら、キャプションが秀逸だと感じました。たくさんの方が見に来られるといいですね。ありがとうございました。
- ◎ 2月3日 京都府京丹後市 (男性、30歳代)  
想像以上に本格的な博物館でおどろきました。教養の深まる一日になりました。
- ◎ 2月9日 兵庫県豊岡市 (男性、10歳代)  
ばとうきんをひかせてくれてありがとうございました。いろいろな写真があつてちょっとこわかったけど、たのしかったです
- ◎ 2月17日 京都府京丹後市 (女性、30歳代)  
ゲルの中に初めて入りましたが中に入るとびっくりするくらい広くて快適な感じでちょっと住んでみたくなりました。洗面所が中にあつたのにもびっくりしました。馬頭琴も馬のしっぽの毛で音が鳴るのを知らなかったので勉強になりました。
- ◎ 2月17日 京都府京丹後市 (女性、30歳代)  
学校で勉強するので見に来てよかったと思います。ゲルに入れてはじめてモンゴルのすごし方がわかりました。ばとうきんというがきをひいて、馬の毛だ

と聞いてびっくりしました

◎ 3月2日 京都府京丹後市（女性、10歳未満）

みんぞくいしょうや馬とうきんがひけてうれしかった。おかしもおいしかった。おかしのすくいどりも楽しかった。ゲルに入れてうれしかった。「まるごとモンゴル雛まつり」にて。

◎ 3月2日 京都府京丹後市（女性、10歳未満）

さいごの歌がうまくてすごかった。おかしのすくいどりがうれしかったし、おいしかったです。「まるごとモンゴル雛まつり」にて。

◎ 3月2日 兵庫県朝来市（男性、20歳未満）

- ・ モンゴルの宗教に関する資料展示は大変印象深く勉強になりました。
- ・ 西村氏の写真展では「働くこと」の原点、「生きること」の意味、「家族」の大切さを改めて実感しました。
- ・ 展示品、写真ひとつひとつから「モンゴル」の空気、地元で生きる方（生活する方）の息づかい、文化を大切にしてきた思いがにじみ出ているように思いました。

異文化理解を学び続ける私に、母国の文化の大切なところは何か？異国の文化に触れるときに何を尊重すべきなのか？を考え直す貴重な機会になりました。これからも、ますます博物館が、そしてモンゴルとの交流が盛んになりますようお祈り申し上げます。

◎ 3月20日 兵庫県豊岡市（女性、60歳代）

「いのち---大地」を見て、人間と動物、植物等のつながりの大切さを知りました。

◎ 3月30日 兵庫県神戸市（女性、10歳未満）

モンゴルのゲルに入れて楽しかったです。ゲルにあこがれていたからです。服を着られるところがあって楽しいし、おもしろい。

## 10. 日本・モンゴル民族博物館の設置 及び管理に関する条例

平成 17 年 4 月 1 日  
条例第 179 号

改正 平成 19 年 12 月 26 日条例第 66 号

(設置)

第 1 条 市民文化を振興し、文化活動の拠点とするとともに、モンゴル文化及び郷土の生活文化の紹介、体験交流等を通して魅力ある地域づくりを図るため、日本・モンゴル民族博物館（以下「博物館」という。）を設置する。

(位置)

第 2 条 博物館の位置は、豊岡市但東町中山 711 番地とする。

(事業)

第 3 条 博物館は、第 1 条に規定する目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 博物館の資料の収集、保管及び利用に関すること。
- (2) 博物館の資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- (3) 博物館の施設の利用に関すること。
- (4) 博物館の資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導をすること。
- (5) 博物館の資料に関する専門的及び技術的な調査研究に関すること。
- (6) 他の博物館等との相互協力に関すること。
- (7) 郷土の生活文化の紹介及び体験交流に関すること。
- (8) 前各号に掲げるもののほか、博物館の目的を達成するために必要な事業

2 豊岡市教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、博物館の施設を、前項の事業の実施に支障のない限りにおいて、その目的以外の目的のために使用させることができる。

(職員)

第 4 条 博物館に、館長その他職員を置く。

(観覧料)

第 5 条 博物館に展示している資料を観覧しようとする者は、別表第 1 に定める額の観覧料を納付しなければならない。

(特別観覧料)

第 6 条 博物館に展示し、又は保管している資料について学術研究等のために模写、模造、撮影等をしようとする者は、教育委員会の許可を受け、1 点 1 回につ

き 2,000 円の範囲内で規則で定める額の特別観覧料を納めなければならない。

(使用の許可)

第 7 条 別表第 2 に掲げる施設を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、前項の許可に博物館の管理上必要な条件を付し、又はこれを変更することができる。

(許可の基準)

第 8 条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、前条第 1 項の許可をしてはならない。

- (1) 博物館の施設の使用が公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認めるとき。
- (2) 博物館の施設の使用が博物館の建物、器具、備品等（以下「建物等」という。）を汚損し、損傷し、又は滅失させるおそれがあると認めるとき。
- (3) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 2 号に規定する暴力団その他反社会的団体又はそれらの構成員が使用すると認めるとき。
- (4) 前 3 号に掲げるもののほか、教育委員会がその使用を不適当であると認めるとき。

2 教育委員会は、博物館の管理上又は公益上支障があると認めるときは、前条第 1 項の許可をしないことができる。

(使用権の譲渡等の禁止)

第 9 条 第 7 条第 1 項の規定により施設の使用の許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、その権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(許可の取消し等)

第 10 条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、許可を取り消し、又は施設の使用の制限をし、若しくは使用の停止を命ずることができる。

- (1) 使用者がこの条例若しくはこの条例に基づく規則又はこれらに基づく指示に違反したとき。
- (2) 使用者が許可された使用目的以外の目的に施設を使用したとき。
- (3) 使用者が許可に付した条件に違反したとき。
- (4) 使用者が詐欺その他不正の行為により許可を受けたとき。

(5) 第 8 条第 1 項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

2 教育委員会は、博物館の管理上又は公益上やむを得ない必要が生じたときは、使用者に対し、前項に規定する処分をすることができる。

(使用料の徴収)

第 11 条 市長は、第 7 条第 1 項の許可を受けてする施設の使用につき、使用者から、別表第 2 に定める使用

料を徴収する。

(観覧料等の減免)

第12条 市長は、公益上特に必要があると認めるときは、申請により、観覧料、特別観覧料及び使用料(以下「観覧料等」という。)を減額し、又は免除することができる。

(観覧料等の不還付)

第13条 既に納めた観覧料等は、還付しない。ただし、第10条第2項の規定により教育委員会が博物館の管理上又は公益上やむを得ない必要が生じたとして同条第1項に規定する処分をしたとき、その他市長が特別の理由があると認めるときは、申請により、その全部又は一部を還付することができる。

(入館の制限等)

第14条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、博物館への入館を拒絶し、又は博物館からの退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがある者
- (2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑になるおそれがある物品若しくは動物の類を携帯する者
- (3) 建物等を汚損し、損傷し、又は滅失させるおそれがある者
- (4) 前3号に掲げるもののほか、博物館の管理上必要な指示に従わない者

(行為の禁止)

第15条 何人も、博物館内において、博物館の管理上支障がある行為をしてはならない。

(原状回復の義務)

第16条 使用者は、博物館の施設の使用を終了したとき、又は第7条第1項の許可を取り消されたときは、直ちに施設を原状に回復しなければならない。

2 教育委員会は、使用者が前項の義務を履行しないときは、その原状回復に必要な措置を採るべきことを命ずることができる。

(損害の賠償等)

第17条 博物館の建物等を汚損し、損傷し、又は滅失させた者は、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長は、特別の事情があると認めるときは、その賠償額を減額し、又はこれを免除することができる。

(委任)

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日の前日までに、合併前の日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理運営に関する条例(平成8年但東町条例第21号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

(観覧料の特例)

3 第5条の規定は、平成17年4月1日から平成18年3月31日までの間においては、合併前の出石郡但東町の区域に居住する者が博物館を観覧するときは、適用しない。

附 則(平成19年12月26日条例第66号)

(施行期日)

1 この条例は、平成20年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例による改正後の日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理に関する条例別表第2の規定は、この条例の施行の日以後に使用許可を受ける者の使用料について適用し、同日前に使用許可を受けている者の使用料については、なお従前の例による。

別表第1(第5条関係)

| 区 分     | 観覧料(1人1回につき) |          | 備 考  |
|---------|--------------|----------|--|
|         | 個 人          | 20名以上の団体 |  |
| 一 般     | 500円         | 450円     | 「一般」とは学生、中学生又は小学生以外の者で、15歳以上のものをいい、「学生」とは大学、高等学校及びこれらに準ずる学校の学生及び生徒をいう。 |
| 学 生     | 300円         | 250円     |  |
| 小学生・中学生 | 200円         | 150円     |  |

別表第2 (第7条、第11条関係)

| 区 分   | 使 用 料        |              |               |
|---|--------------|--------------|---------------|
|   | 午前9時から午後零時まで | 午後1時から午後5時まで | 午後6時から午後10時まで |
| 企画展示室                                       | 1,500円       | 2,000円       |               |
| 体験交流室                                       | 1,200円       | 1,600円       | 1,600円        |
| 天幕住居(ゲル)                                    | 1基につき5,000円  |              |               |
| 備考  |              |              |               |
| 1 冷暖房を使用する場合は、この表に規定するそれぞれの額の3割に相当する額を加算する。 |              |              |               |
| 2 電気釜の使用料は、1回当たり1,000円とする。                  |              |              |               |

## 11. 施設概要

### (1) 本館建設概要

位 置 兵庫県豊岡市但東町中山711

基本設計 建物 井上良一建築設計事務所  
 展示 株式会社さんよう

実施設計 建物 井上良一建築設計事務所  
 展示 株式会社さんよう

工事施工 建物 川嶋・井田・マルテン特別共同企業体  
 展示 株式会社さんよう

工 期 建物 着工 平成7年12月14日  
 竣工 平成8年8月12日  
 展示 着工 平成8年5月7日  
 竣工 平成8年10月30日

敷地面積 10,402.84㎡

建築面積 999.65㎡

構造概要 鉄筋コンクリート造 フッ素樹脂塗装鋼板瓦葺葺  
 立体トラス鉄骨(KTトラス)

各室面積 玄関ホール・たんとうの森 211.6㎡、収蔵庫1 54.6㎡、収蔵庫2 56.5㎡、荷解室 33.3㎡、多用途室 28.0㎡、事務室 33.3㎡、準備室 48.2㎡  
 展示室「アジアの歴史」 75.7㎡  
 展示室「モンゴル草原の暮らしと文化」 206.8㎡  
 展示室「チベット仏教」 37.7㎡  
 企画展示室 74.4㎡  
 シルクロード(回廊)1 13.3㎡、シルクロード(回廊)2 13.3㎡、シルクロード(回廊)3 12.6㎡、シルクロード(回廊)4 12.6㎡

建物規模 平屋建て 東西41.8m 南北42.5m  
 地上高9.0m

〈外装〉 複層吹付

仕 上 げ 〈内装〉 床 : モルタル下地タイルカーペット貼  
 壁 : 山本薬業化学テラックス、石膏ボード、化粧合板  
 天井 : 杉小幅板、岩綿吸音板貼

### (2) 伝承文化体験交流館建設概要

位 置 兵庫県豊岡市但東町中山711

基本設計 建物・展示 井上良一建築設計事務所

実施設計 建物・展示 井上良一建築設計事務所

工事施工 建物 株式会社マルテン  
 展示 株式会社ナギサ建築工芸

工 期 建物・展示 着工 平成11年9月14日  
 竣工 平成12年3月29日

敷地面積 317.57㎡

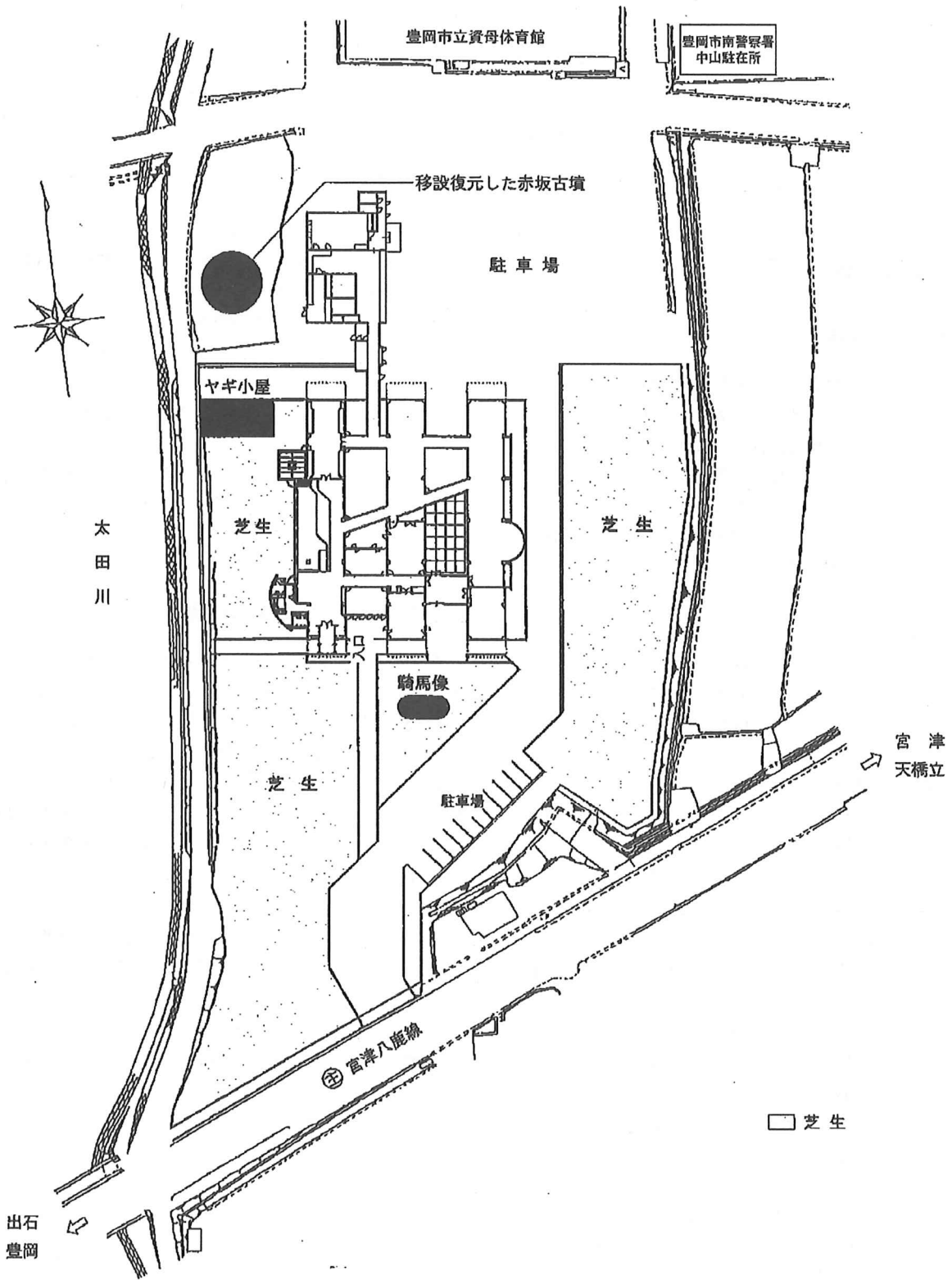
構造概要 一部鉄筋コンクリート造 木造瓦葺

各室面積 体験交流室 62.6㎡、展示室「豊岡市たんとうの暮らしと文化」 112.5㎡、シルクロード(回廊)5 36.4㎡、収蔵庫 27.2㎡

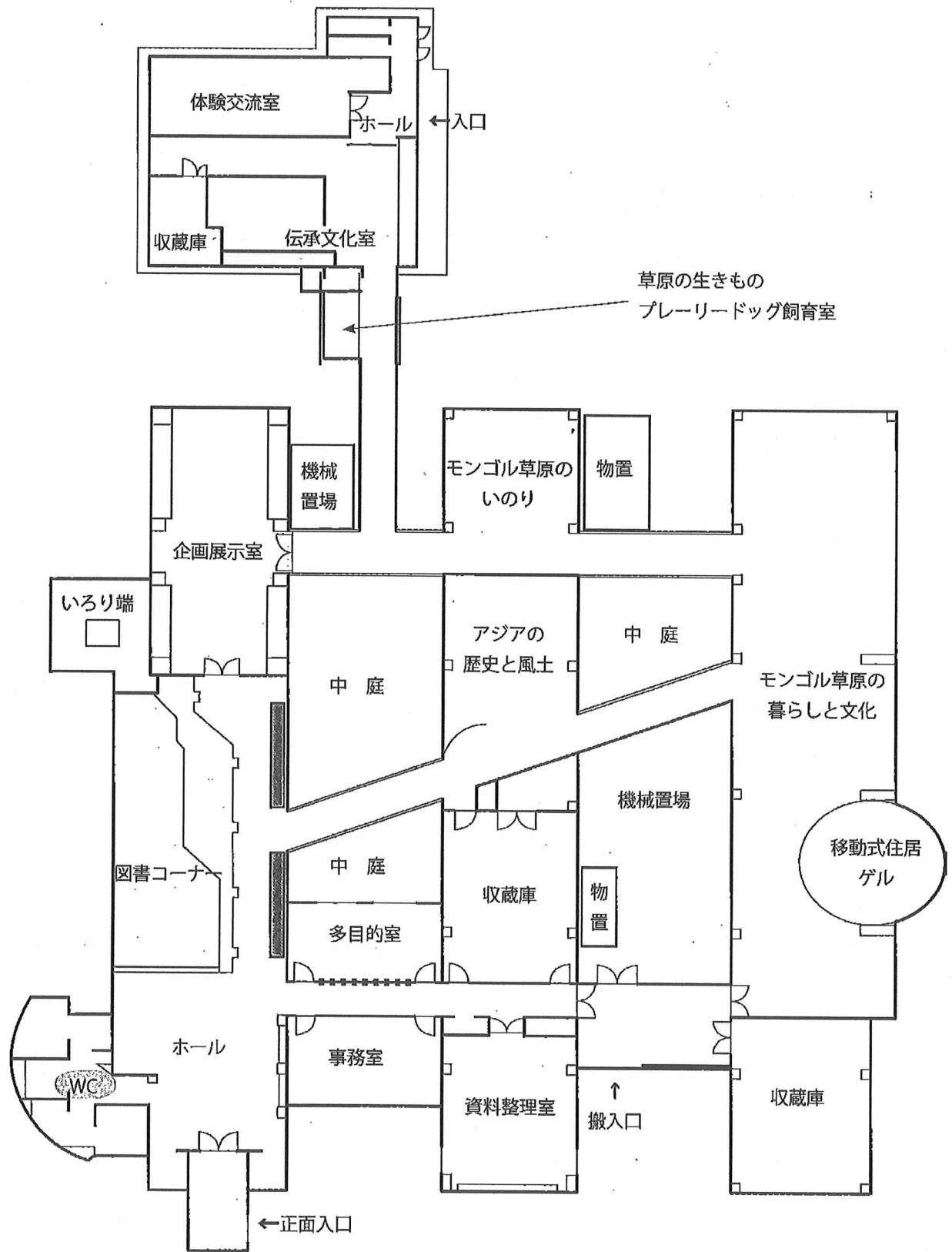
建物規模 平屋建て 東西12.8m 南北21.2m  
 地上高7.1m

仕 上 げ 〈外装〉 押出形成セメント板  
 〈内装〉 床 : モルタル下地タイルカーペット貼  
 壁 : ビニルクロス貼 一部杉板張  
 天井 : 化粧PB張 一部杉板張

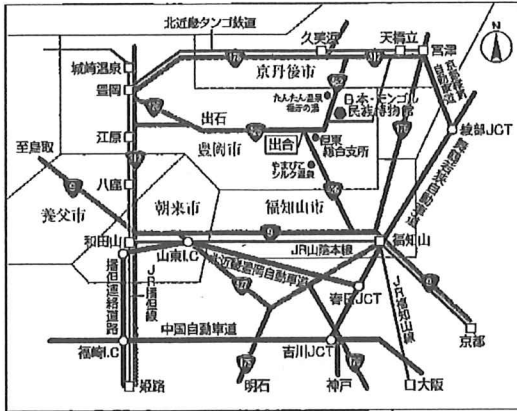
(3) 配置図



(4) 館内図



## 12. 交通案内



- JRで（山陰線）  
豊岡駅よりバスで約60分・出石で乗り換え（奥藤行き）モンゴル博物館前下車
- お車で  
大阪・神戸方面・・・舞鶴若狭自動車道 福知山ICより約60分  
京都方面・・・京都縦貫道路 丹波ICより約90分  
姫路方面・・・播但連絡道路 和田山ICより約60分

## 13. 利用案内

- 開館時間 9時30分～17時  
(入館は16時30分まで)
- 休館日 水曜日(祝日の場合は翌日)  
年末年始(12月28日～1月4日)  
展示替えによる臨時休館
- 入館料
  - 一般 500円(450円)
  - 高校・大学生 300円(250円)
  - 小学・中学生 200円(150円)
 ※ ( )内は20名以上の団体の場合  
 ※身障者は各料金の半額  
 ※65歳以上は半額  
 ※兵庫県内の小・中学生はココロカードの提示により無料

**日本・モンゴル民族博物館年報第 14 号**

**Annual Report of the Japan Mongolia Folk Museum  
No.14 (for the fiscal years of 2012)**

〒 668-0345 兵庫県豊岡市但東町中山 711

711 Nakayama, Tanto-town, Toyooka-city, Hyogo Pref. 668-0345 Japan

TEL (0796)56-1000 / FAX (0796)56-1022

URL <http://www3.city.toyooka.lg.jp/monpaku/index.html>

E-mail [monpaku@city.toyooka.lg.jp](mailto:monpaku@city.toyooka.lg.jp)

発行／日本・モンゴル民族博物館

平成 25 年 3 月 31 日発行